今月の
"心にひびく言葉"

ヘレン・ケラー　の言葉
（1880 年 6 月 27 日～1968 年 6 月 1 日）

アメリカ合衆国の教育家・社会福祉事業家。2歳のとき、聴力・視力・言葉を失いましたが、家庭教師のアン・サリバンの指導と本人の継続的な努力により、諦めかけていた「話す」ことができるようになりました。一時だけの努力ではなく、十分な時間努力を継続していけば、自分でも不可能と思っていたことが可能になります。大切なことは、もう疲れた、気分がのらないからと投げ出さずに、自分の努力を続けることですね。

もし十分な時間をかけ、
努力をおこたらなければ、
望んでいることはすべて実現できる。

2026-8